

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

アンコンシャス・バイアス研修 (e-Learning)を受講してください

みなさんは、アンコンシャス・バイアス (Unconscious Bias) について知っていますか？これは、脳の無意識レベルに存在するもので、誰にでもあると考えられており、自覚しにくいことが特徴です。

大阪大学では、様々な差別や偏見をなくすため、アンコンシャス・バイアスについて理解を深める研修の受講を必須としています。



大学院新入生：下の方法でe-Learningを受講してください <必須！>

※学部生ですでに受講済の場合を除く

(2026年9月末までに未受講の方へは、所属研究科を通じて督促させていただきます)

学部新入生：e-Learningの一部を4/3・4/4開講の全学**必修**講義「大学生活環境論」で取り上げます。もっと深く知りたい方は、e-Learningも受講してください！



e-Learningへのアクセス方法はこちら！
(研修はマイハンダイに掲載されています)

①右記QRコードより、「【全学生対象】
令和8年度アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）
研修の実施について」にアクセス

※大阪大学個人IDとパスワードが必要です。

②資料学習後、「受講後アンケート」に回答

※受講後アンケートに回答しなければ、受講完了となりません。



【How to Access the Unconscious Bias Training Page】

①Scan the QR code in the upper right corner to access the "[For All Students] Unconscious Bias Training for FY2026" page.

※You will need your UOsaka Personal ID and PW to enter the website.

②After the training, please fill out the "Post-training Questionnaire".

※The course will not be complete without finishing the post-training questionnaire.

次のページで例題を掲載していますので、ぜひチャレンジしてみてください！

例：ある研究室での会話

★Aさんは50代の教授、Bさんは学生、Cさんは20代の助教です。

教授A 「レポートを読ませてもらったのだけど、Bさんは、文系女子なのに、論理的ですごいですね。」

学生B 「ありがとうございます。」

教授A「それはそうと、Cさん、今度、ハラスメント委員をお願いできますか？ハラスメント委員は、うちの研究室では細やかな心遣いができる女性に頼むことになっているから。」

あなたは、いくつ不適切な発言をみつけることができますか？

女系女子は原理的でないところに留め置かれて一般化されてゐる。これは性別による性別差異のうちの性別差異を一般化したものである。力】高い女だ」「（男性的）彼女いの？」「等の言葉がよくある。女は日常の言葉（言葉・非言葉）である。例えども、「男の女」や「女」は必ずしも性別ではなく、特定の事柄に対するものである。これに付けて、一連のストーリーがある。これが性別である。実際の状態の性別相手を整理すると、女は「女」の性質の数学的性質、「女」の性質を回繰り、「女」の性質を順番に並べる力である。女は性別を考へる力である。

他にも…

女性に理系の進路は 向いていない



組織のリーダーは 男性の方が向いている

これらも身近に潜むアンコンシャス・バイアスの一例です。

e-Learningを受講して、更に理解を深めましょう！

内閣府が作成している、以下のページも参考にしてみてください。

<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/unconsciousbias/#check>

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2024/202406/202406_05.html